

No 32.

(1) [関係代名詞 whose]《京都府立大》

① Later, I recognized the wonder of larger creatures, and I mused on the diversity of life and how each part of it interacted intimately with so many other parts.

→ のちに私は、より大きな生き物の神秘を認識し、生命の多様性と、その一つひとつの部分が他の多くの部分とどのように親密に相互作用しているのかについて思索した。

◎文法解説:

- ・ recognize と realize・understand の違い:
 - recognize = 目にしてそれが何かを「認識する」。以前知っていたものに再び気づく。
 - realize = 「心の中で実感する」。観念的な気づき。
 - understand = 「仕組み・意味を理解する」。論理的。
- ・ muse on A: 「A について思索する」。on は「思考の対象」を表す。reflect on A 「A について考える」sleep on A 「A について一晩考える」
- ・ interact with A: 「A と相互作用する」。語源 inter-(間に) + act(行う)。

② In 1969 I founded the Wildlife Clubs of Kenya, whose purpose is to educate children about life in their land.

→ 1969 年に私はケニア野生クラブを設立した。その目的は、子どもたちに自分たちの土地の生命について教育することである。

◎文法解説:

- ・ whose purpose: 所有を表す関係代名詞 whose。継続用法で先行詞を補足。
- ・ is to educate: 不定詞の名詞的用法。「教育すること」。目的を明確に示す。

(2) [関係代名詞 that]《関西学院大》

① A recent survey on “the seven ages of man” shows what really matters to people at different stages of their lives.

→ 「人間の七つの時期」に関する最近の調査は、人生のさまざまな段階において人々にとって本当に重要なものが何であることを示している。

◎文法解説:

- ・ what matters is A = 「重要なのは A である」= It is A that matters と同義。

② Perhaps unexpectedly, falling in love takes on a growing importance as people grow older.

→ おそらく意外なことに、人は年を重ねるにつれて、恋に落ちることがますます大きな重要性を帯びていく。

◎文法解説:

- ・ falling in love: 動名詞が主語。「恋に落ちること」。fall が動詞原形ではなく -ing 形

Supplementary notebook

になっている点に注意。

- take on:「新たに帯びる」。ここでは「重要性を増す」。
- a growing importance: growing = 「増していく」≡ more and more important.

③ The study found that the over-90s, who might be obsessed with death, in fact regard the forming of new relationships as the most important thing that happens to them.

→ 研究によれば、死にとりつかれているかもしれない 90 歳以上の人々できえ、実際には新しい人間関係を築くことを自分たちに起こる最も重要な出来事と考えている。

◎文法解説:

- who might be obsessed with death:「死にとりつかれているかもしれない」。be obsessed with A は「A で頭がいっぱいである」=「A に強くとりつかれている」。with は「満杯・充満」を表すイメージ。
- regard A as B:「A を B と見なす」。本問では the forming of new relationships を the most important thing と見なしている。
- that happens to them: thing を修飾する関係代名詞 that。「彼らに起こること」。

(3) [関係副詞 when / where]《神戸大》

① Sleep also seems to be the time when the brain's two memory systems — the hippocampus and the neocortex — “talk” with one other.

→ 睡眠はまた、脳の二つの記憶システム——海馬と大脳皮質——が互いに「対話」する時のように思われる。

◎文法解説:

- the time when:「～する時」。関係副詞 when
- — the hippocampus and the neocortex —:ダッシュによる挿入=two memory systems の説明。

② If a memory is to be retained, it must be shipped from the hippocampus to a place where it will endure — the neocortex, the wrinkled outer layer of the brain where higher thinking takes place.

→ 記憶を保持するためには、それを海馬から大脳皮質という場所に移さねばならない。そこは記憶が持続する場所であり、脳の外層に皺をもつ部分で、高度な思考が行われる場所である。

◎文法解説:

- If S be to V:「もし S が～しようとするなら」。強調的条件表現。
- retain:語源 re-(後ろへ) + tenere(保つ)。tain 系動詞は「握って保つ」共通のイメージ。

contain = con- + tenere「共に保つ」→「含む」/ maintain = manu + tenere「手で保つ」→「維持する・主張する」/ obtain = ob- + tenere「向かって保つ」→「獲得する」/ sustain = sub- + tenere「下で支えて保つ」→「支える・持続させる」/ detain = de- + tenere「離して保つ」→「拘留する・引き止める」

- the place where:「～する場所」。
- the wrinkled outer layer of the brain, where ...:カンマは同格。outer layer = neocortex を補足説明。
- take place:「行われる」。出来事が「その場を取る」というイメージ。be held と同義になる場合が多い。訳は「行われる」で「開催される」と同系統の表現に注意。

(4) [関係副詞 why]《北海道大》

① With phone prices getting lower and lower and special payment plans designed to encourage teenagers, the mobile's presence in schools seems certain to increase.

→ 携帯電話の価格がますます下がり、また十代の若者を奨励するために設計された特別な料金プランがあるので、学校における携帯電話の存在は確実に増えていくように思われる。

◎文法解説:

- with O C:付帯状況の with 構文。「O が C の状態で」。
- getting lower and lower:現在分詞による進行的変化「ますます安くなっている」。
- special payment plans designed to encourage teenagers:過去分詞 designed が後置修飾し「～するように考案された特別料金プラン」。
- and による並列:with の後に「2つの要素」が並列されている。
- seem certain to V:「必ず～しそうに見える」。

② At one London school 40 percent of a class of 11-year-olds admitted to having beepers or mobile phones.

→ ロンドンのある学校では、11歳の1クラスの生徒の40%がポケベルや携帯電話を持っていると認めた。

③ Chatting to friends is the reason why they want them, but when asked by adults why they should have them, all cited parental concern for their safety.

→ 友人とおしゃべりすることが、彼らが携帯電話を欲しが理由である。しかし、大人に「なぜ持つべきなのか」と尋ねられると、全員が安全のために両親が心配するからだと答えた。

◎文法解説:

- Chatting to friends:動名詞が主語。「友達とおしゃべりすること」。
- the reason why:「～する理由」。

Supplementary notebook

- concern:「関心・心配」。concern for safety = 「安全への心配」。
- when asked by adults why ...:分詞構文。「大人に『なぜ〜か』と尋ねられたとき」。
省略主語は they。